

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	FreeStyle リブレ導入後の HbA1c 値、グルコース値の改善効果について
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	中央臨床検査部
研究責任者	技師長 谷 浩也
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	FreeStyle リブレは持続的な血糖値変動の把握が可能な機器です。この機器を使用することにより、糖尿病患者さんの血糖値コントロールの改善効果の有無を調査することを目的としています。
対象となる患者さん	2017年11月から2019年11月の間に、自己血糖測定器のみ使用している患者さんと、自己血糖測定器に加え FreeStyle リブレを併用された患者さんについて、それぞれ1年以上継続して使用した患者さん
研究の方法	自己血糖測定器のみを使用しているグループと、自己血糖測定器に加え FreeStyle リブレを併用したグループへ患者さんを分類します。各グループの機器使用開始時の血糖値、HbA1c 値を基準に、使用開始から最大2年後に血糖値、HbA1c 値の変化を調査します。自己血糖測定器のみを使用しているグループと、自己血糖測定器に加え FreeStyle リブレを併用したグループの血糖値、HbA1c 値を比較し、両グループで血糖値コントロールの改善効果に差が認められるのか、両グループに差が認められないのかを統計処理により検証します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2021年3月31日
研究に用いる試料・情報	情報：自己血糖測定器および、FreeStyle リブレ使用開始後、6 ヶ月、12 ヶ月、18 ヶ月、24 ヶ月時のグルコース値、HbA1c 値等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2020年12月

は提供を希望しない 場合	31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 中央臨床検査部 担当者：臨床検査技師 寺田 達夫 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 35815）